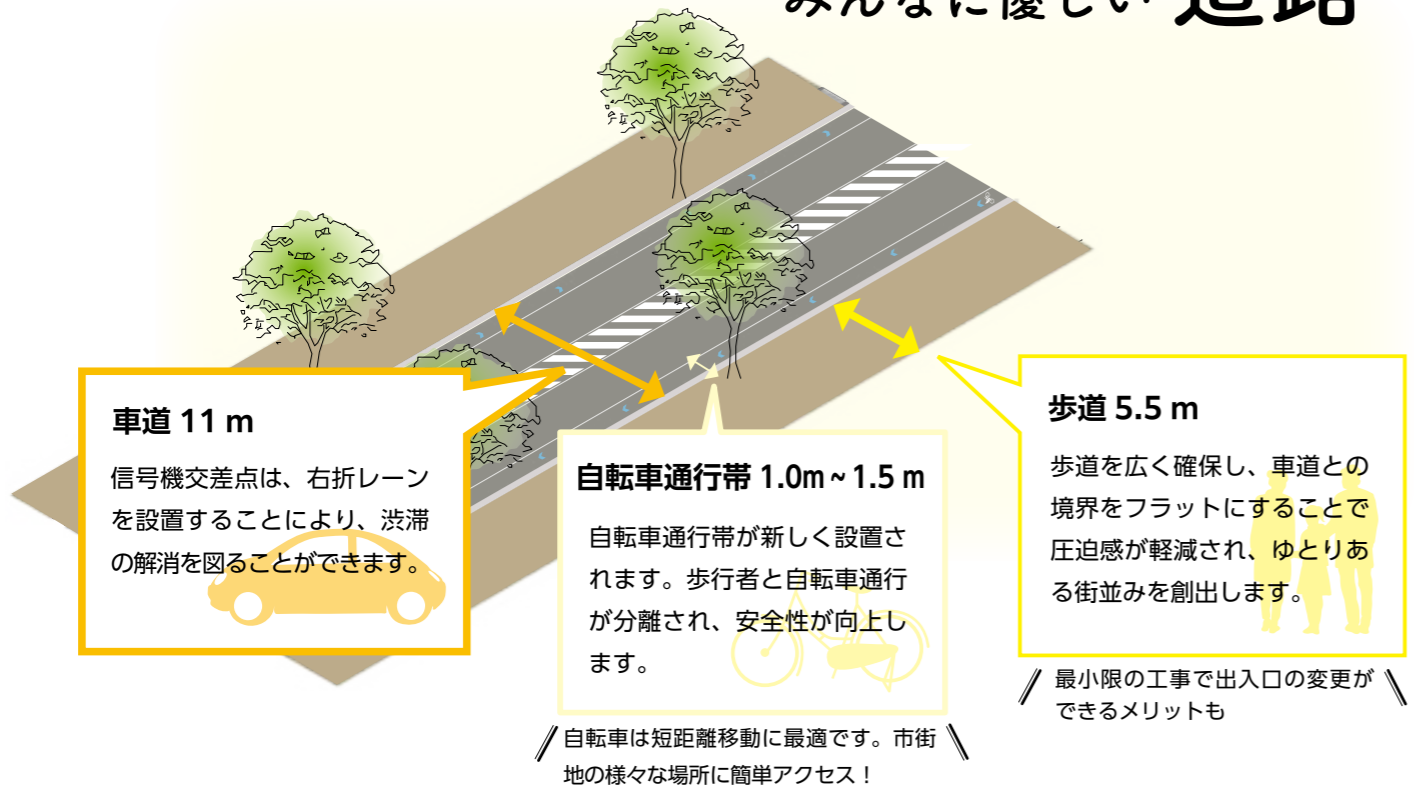


みんなに優しい 道路



心を癒す 街路樹



サークルベンチ
横断歩道がある場所には、木陰の下で信号待ちができるように、木陰をつくる木とサークルベンチの設置を考えています。



コバンモチ
葉が生い茂り、木陰をつくりやすい木です。サークルベンチの木陰で一休みできます。



常緑ヤマボウシ
初夏に白い花をつけ、9月には実をつける木です。四季を感じることができます。

維持管理のしやすさから
落ち葉の少ない常緑樹を選定



市街地整備係（内線1316）

多くの人が行き交い、まちの活気を呼び起こす道筋となることを目指し、早期完了に向けて事業に取り組んでいます。

■お問合せ

行橋市の玄関口となる行橋駅。日々の暮らし、その思い出の場所として、行橋駅東口前の通りを思い出す方もいるのではないのでしょうか？行橋市民の暮らしを彩る新たな道として、その景観が大きく変わろうとしています。

行橋市では東九州自動車道や国道201号バイパス線、行事西泉線などの主要道路事業が完了したこともあり、平成27年より、県道行橋停車場線の拡幅について、県街路事業として事業化が実現しました。

行橋駅から川越交差点までの550m間を22mの幅員へ拡幅します。行橋駅へのアクセス機能強化、無電柱化（電柱の地中化）による災害時の避難路・救護路機能の強化、電気・水道等のライフラインのための空間確保など、都市機能の強化を図ります。さらに、駅西口地区との相乗効果

による人の流入、街路空間の魅力向上による人の滞留時間の増加などにより、駅東口地区の賑わいが再び生まれることも期待しています。

多くの方が行き交い、まちの活気を呼び起こす道筋となることを目指し、早期完了に向けて事業に取り組んでいます。

駅前新しい未来へ 駅前通り拡幅工事進行中

（県道 行橋停車場線）



※完成イメージ図 (CG)
イメージしやすいように、一部構造物（信号機等）を省略しています。

